

〔 7年9月8日 〕  
〔 日 本 銀 行 〕

公定歩合の引下げおよび市場金利の  
引下げ措置について

- (1) 7月の市場金利引下げ措置以降、短期を中心に各種金利は大きく低下している。為替市場では、それまでの円高の動きが修正されつつある。こうした市場動向を反映して、企業の景況感の過度な萎縮は食い止められている。このため、株価も持ち直している。
- (2) 一方、最近の経済情勢をみると、経済活動の足踏み状態が続いており、市場環境の改善にもかかわらず、この傾向が長引く可能性が懸念される。物価面では、引続き、全般的に下落圧力が根強い状況にある。上記のような経済活動や物価の状況を反映して、マネーサプライの伸びは鈍化している。
- (3) 以上のような情勢を踏まえ、日本銀行としては、引続き、物価が過度に下落した場合の経済に及ぼす影響をも念頭に置きつつ、経済が回復基調に復することを金融面から十分サポートするため、一層強力に金融緩和を押し進めることが必要と判断した。このため、日本銀行は、本日、公定歩合を 0.5% ( 1.0% → 0.5% ) 引下げ、正午より実施することを決定した。また、当面の金融調節に当っては、金融市場において資金の潤沢な供給に努め、市場金利の一段の低下を促すこととした。その際、短期の市場金利は、平均的にみて、新たな公定歩合水準をやや下回って推移することを想定している。
- (4) 日本銀行としては、本措置により、金利全般がさらに低下し、物価安定の下での景気の着実な回復に資することを期待しているが、同時に、思い切った規制緩和の推進など構造政策の実施を伴ってこそ、こうした金融緩和の効果が十分に発揮されるものと考えている。

以 上

日本銀行基準割引歩合および  
基準貸付利子歩合の変更

(平成 7年 9月 8日実施)

1. 商業手形割引歩合ならびに国債、  
特に指定する債券または商業手形に  
準ずる手形を担保とする貸付利子歩合  
年 0.5 %  
(0.5 %引下げ)
2. その他のものを担保とする貸付利子  
歩合  
年 0.75 %  
(0.5 %引下げ)